



広重版画より 三島 朝霧

第2382回例会

2024.4.4 曇

司 会

遠藤真道君

国歌斉唱

奉仕の理想

ロータリーソング

「ROTARY」
指揮 南木一仁君

会長挨拶

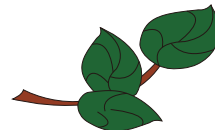
会長 平出利之君

「新幹線は何故沼津駅に停車しないのか」という記事がありましたので、ご紹介したいと思います。私は、当時の沼津は大変賑やかで華やいていたので、新幹線が止まらなくても良いと言って沼津市民が反対をしたと、聞いておりました。ところが事実は違っておりました。新幹線が走っているルートは愛鷹山のふもとの方を通っています。その場所に駅を作ると、東海道線の沼津駅から2.5kmの距離があり、大変不便になってしまいます。それならば東海道線と並行して作れば良いと思いますが、これが出来ませんでした。なぜかという、原駅の北側は地盤が悪く、「浮島沼」と呼ばれていて建設出来ませんでした。今は土地改良が進んで、沼津市立病院やららぼーなどの建物が建っておりますが、新幹線が開通する頃は不可能な状態でした。これらの理由で沼津に新幹線駅はできませんでした。ところが新幹線開通後、沼津市で奇妙な神話が生まれました。それは「反対運動があつて新幹線駅が出来なかった。」それに輪をかけて、沼津の斎藤衛市長も挨拶の時に「沼津市民が反対したために新幹線駅が出来なかった」と間違つた挨拶をして広まっていったと、記事では書いてありました。しかし実際は新幹線駅を作るのに沼津市と三島市は協力をしあつていたので、三島駅建設が決まった時に沼津市から三島市に負担金を払つたと書かれておりました。この負担金を払つた詳しい内容は書かれておりませんでしたので、詳細は不明です。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	43/50	86.00%	47/50	94.00%
今回	45/51	88.24%	会員総数	53名

欠席者 窪田君、清水君、須田君、諏訪部君、藤江君、前田(博)君、



幹事報告

幹事 赤池克斗君

- 1.本日例会の卓話は小塚英樹君です。よろしくお願ひいたします。
- 2.次回例会は、4月11日(木)18:30呉竹 古屋英将君の卓話です。
- 3.山本孝介 君の入会が理事会で承認されました。
- 4.田代陽介 君の入会が理事会で承認されました。
- 5.4月13日13:30~せせらぎ三島RC35周年事業があります。
- 6.5月17日せせらぎ三島RC35周年記念式典があります。

卓 話

自己紹介

小塚英樹君

函南町平井で小さな塗装会社を経営しております、小塚英樹と申します。

以前コロナ禍の際に初めての卓話の予定がありましたが、中止になり、もう4年目に入ります。今更ですが自己紹介をさせていただきます。

私は非常に人見知りで、不愛想なのでよく黙っていると「怒ってる？」と聞かれたり、とっつきにくいと思われがちですが、親しい友人からはいじられることも多く、ロータリーの先輩方も早く打ち解けたいと思っておりますので、バシバシいじって構っていただけたら嬉しいです。トーク力も無く、無口すぎるのが自分のコンプレックスなんです…

私は生まれも育ちも函南で、函南東小、函南東中、沼津工業高校(残念ながら中退)出身でその後、ガソリンスタンド、沼津魚市場で早朝3時～市場の中をバイクで配達する仕事や居酒屋などさまざまなバイト経験を経て、塗装業が一番向いていると思い、塗装会社に勤め、結婚後、平成13年に独立し伊豆の国市で開業、平成24年に現在の事務所に移転、平成29年に法人化し今に至ります。

小学生の頃はカブトムシを採ったり秘密基地を作ったり、サッカーを友達と楽しむようなごく一般的な少年でした。中学生になり、当時キャプテン翼に憧れてサッカー部に入部したかったのですが、函南東中にはサッカー部が無く、小学生の時に地区のソフトボールを経験したこともあり、軽い気持ちで野球部に入部したのですが、当時の監督がとて厳しく、今ではあり得ないような、様々な、非常に厳しい指導を受けておりました。

今となっては良い思い出です。挨拶や上下関係の大切さなど、野球以外のことも沢山学ばせていただいたので、監督には今ではすごく感謝しております。

私の父親は伊豆市(旧中伊豆町)の下白岩というかなり田舎の育ちで、函南のプロパンガス屋さんに勤務し、その後独立してTOKAIの下請けメインのガス関係の仕事で現在も続けております。もう75歳になるので、体力的にも今年で引退するそうです。

母親は修善寺の出身で生命保険会社に勤めておりましたが、私が中学2年生の時に両親が離婚し、それから私と兄を育てる為に函南の Snackbar でバイトをして後に「ありんこ」という Snackbar を伊豆長岡駅そばに開業し、30年ほど営んでおりましたが、4年ほど前に店をたたみました。女手一つで育ててもらい大変感謝しております。

母親は Snackbar をやっていただけあってお酒は結構飲めるのですが、父があまり飲めない口なので、私はそちらを受け継いだのだと思います。

ちなみに、両親の離婚に際し移り住んだのが、なんと！現在の事務所の隣のアパートでした。当時から塗装会社の事務所ではありましたが、たまたま自分も塗装業に携わる事になり、様々なツテから先代の社長の下で働く事になり、その社長が癌で亡くなり、一番お世話になっていた自分が引き継ぐ事になりました。自分がまさか塗装業に携わろうとも、そして

隣の事務所で会社を構えることになろうとは。子供の頃は夢にも思っていないので、不思議な縁を感じています。

現在の家族構成は、私の母と、妻と娘二人の5人で、伊豆の国市に数年前に家建てて生活しております。娘二人は、23才と20才になるので、最近はめっきり一緒に出掛けることもなくなりました。出掛けるとすると、家族誰かの誕生日の日に5人で外食に行ってみんなでお祝いする。その程度だと思えます。私男一人なので肩身が狭いです。

「小塚」という名字は若干珍しいと思いますが、調べてみたところ、全国名字ランキングでは1346位、全国で12,500人ほど、特に愛知県や秋田県に多く東日本全域にいるそうです。父親出身の伊豆市下白岩辺りでもかなり多い名字です。フィギアスケートの小塚崇彦さんが有名かと思いますが、愛知県出身で名古屋市でも結構多いらしいです。

そこで、ロータリー会員の皆様の名字も気になって調べてみたので、珍しい名字ランキングをここで発表したいと思います。

第5位 町野さん、全国で3200人

第4位 相山さん、全国で2400人(相の字がやはり珍しいみたいです)

第3位 南木さん、全国で1600人

そして上位2人は断トツで珍しい名字！！

第2位 矢岸さん、全国で150人(ほぼ静岡県民だそうです)

第1位 亥角さん、全国で120人(兵庫県に60人、静岡県に10人ほどだそうです)

ちなみに6位が諏訪部さん、7位 芦川さん、8位 森藤さん、9位 花房さん、10位 伊丹さん、11位に小塚となります。(意外と小塚は珍しくなかったですね…)

私の趣味は約8年前から始めたゴルフです。かなり前から誘われてはいたものの、なかなかやってみようとは思えず、親しい塗装業界の仲間からの熱い誘いでふと始めてみたところ、親切な指導のお陰もあり、始めから楽しくて、今はドはまりしています。

まず、一ヶ月打ちっ放しでみっちり練習し、コースデビューは130後半だったと思います。それから半年ほどで100切りを達成し、ゴールド川名カントリークラブで98、次に三島カントリークラブで97と次々に90代が出たことで、「あ、意外と100切りなんてチョロいもんだな～」と思ってしまい、その頃から調子に乗ってあまり練習しなくなり、この時期はコースに月2、3回ぐらいは行っていたにも関わらず、そこから105だったり、102だったり、100台をウロウロして100を切れない時期がなんと！一年間続きました。

そしてようやく100切りだしてなんとか安定し始め、90台、80台と出る様になり、今では90前後で回れることが多くなりました。それでも練習にあまり行っていなかったり、コースに行く間が空いてしまったりすると、すぐ100は打ってしまいますね…

ですので、これからの目標としては、常に100切りすること、同伴者様と楽しくプレーして、一人でも多くの方と親睦を深められたらなと思っております。

ロータリーでもゴルフを介して自分を知ってもらえたらと思っていますので、今後とも積極的に参加させていただきたいと思っています。

ちなみに、普段は函南から南方面の、韮山カントリー、函南ゴルフ、大仁、修善寺カントリー、フジ天城などによく行きます。とくにフジ天城はメンバー会員ですので回数的には一番行っています。だいたい行くと矢岸さん、伊丹さん、杉崎さんなどによくお会いします。

ゴルフだけが趣味と思われている方も多いかもかもしれませんが、私のもう一つの趣味が「サウナ」です。

若い頃は全く興味がなかったのですが、30代半ばになって友人に誘われ入ってみたところ、ハマってしまいました。

高温サウナに10分～12分入って、この時はなかなか暑くて辛いのですが、水風呂に1分程度入り、外気で10分程度休憩する。この瞬間、本当に頭、体がすっきりして何も考えずにいられる最高のひと時です。

このセットを3～4回繰り返すと、嫌な事や疲れが吹き飛んでしまいます。仕事終わりの夕方やゴルフ後だったり、休日のにんびりと行くことが多いです。

ご存じの方も多いかと思いますが、以前コロナ禍で「サウナは大丈夫かな」と不安に思ったのでネットで調べたものを読み上げたいと思います。

サウナで新型コロナウイルスは消える？

「サウナは密室だけど新型コロナウイルスの感染は大丈夫？」「サウナの温度で新型コロナウイルスは死ぬの？」といった疑問をお持ちの方は多いと思われます。誤解がないように、最初に述べておきますと、サウナで新型コロナウイルスが消えるとは実証されていません。したがってサウナでのコロナウイルスへの感染リスクは0ではありません。ではサウナ利用は控えたほうがいいのか？というそうでもありません。サウナ室のような高温多湿の場所では、特別に高温に強いウイルスではない限り、一般的にはウイルスの生存期間が縮まるとされています。風邪は流行るのは冬の乾燥した時期が多いのもそのためです。また、ウイルスは80℃以上の高温に15分間晒されるとほぼ死滅するとも言われています。なので、サウナ室内の高温はウイルスにとってかなり活動しにくい環境であることは間違いありません。

サウナ用語「ととのう」とは？

サウナの効果としては脳の爽快感や心身のリフレッシュ効果があります。そして、「サウナー」とサウナ愛好家たちの間では、「ととのう」という言葉がよく使用されます。

この「ととのう」とは、サウナによる状態を表す言葉なのですが、サウナによる体の温めと水風呂での体のクールダウンの繰り返しにより、心身共に非常に調子がいいと感じられる体の状態のことをいいます。

脳がすっきりして体が軽くなり、感覚がリセットされたように感じる人もいます。サウナの醍醐味ともなっています。ちなみに11月11日は、「ととのいの日」となっています。

(沼津にある万葉の湯では1時間に1回オートロウリュがあり、100度超えることもあるのでこの10分間ぐらいはかなりきついです。)

今の話で興味を持たれた方、お好きな方がいましたらぜひご一緒に下さい。

サウナといえば、静岡市に有名な「しきじ」という所があるのですが、テレビなどでもよく取り上げられていて、ずっと行ってみ

たいと思っていたものの、なかなか行く機会が無かったのですが、つい先日やっと思行ことができました。

それほど大きくはない町中の銭湯という感じで、まず入口に沢山の有名人の色紙が飾られていました。

ここにはサウナが2種類あり、一つはフィンランドサウナといって、通常一般的なサウナが80度～90度に対し、なんとここは室温110度！

普段私は温度が高めの室内上段に座るのですが、ここでは皮膚が痛くなり我慢できず下段に移りましたが、それでもかなり痛く、我慢できないほどでした。

もう一つが薬草サウナといって、10種類以上の薬草袋が吊るされていて結構薬草の臭いが強く、いかにも体に良さそうな感じでした。

室温は60度とそれほど熱くはないのですが、薬草を蒸すための蒸気が凄くてその熱のせいか体感では100度以上に感じました。

通常10分以上入る私もさすがに我慢できず5～6分程度で出てしまいました。

そして、この水風呂がかなり有名で、地下50メートルから組み上げている、天然水に浸かることができ、柔らかい水質で飲料水としてもいけるそうです。この湧き水は市販されている飲料水の2倍から3倍のミネラルが含まれていると、そこに貼られている説明文に書かれていました。皆さん水の出口からコップで汲んで飲まれていました。ペットボトルに入れて持ち帰りも可能だそうです。

私も浸かってみましたが、なんとなくですが、外側からこの天然水が体内へ吸収されているように感じられました。いつものサウナより「あまみ」も沢山出ていて、夜まで消えていなかったのには驚きました。

ちなみに「あまみ」とは、腕や足など皮膚上に赤い斑点が出来る現象で、キリン柄ジラフ柄などのような柄で、血流が良くなると現れると言われています。

初めてこの「あまみ」が自分の体に現れた時には異常事態かと思い、ピピッと自分で調べてみたほどでした。日によってもこの「あまみ」の出方が違うのですが、この「あまみ」が出るほど効果を感じるので、このしきじも、遠方からもわざわざ訪れる所かと思いました。

普段とは違った2種類のサウナと水風呂に2回ずつ入り、私もとても堪能できました。皆様、静岡に行った際にはぜひ行ってみてください。

ロータリーに加入してまだ日も浅いですが、様々な行事を通して沢山の良い経験をさせて頂いております。

中でも、親睦一座の「ポールハリスとアルカポネ」では私は藤江警察署長の部下役でセリフは少なかったのですが、セリフの多い平出さんは苦戦されていて、居残り練習までしていたので大丈夫かなあと、心配しましたが、何度も練習し本番ではキッチリこなしている姿は流石だなと、感心いたしました。本番が一番良かったです！

みんなで劇の練習をしたり、遅くまで集まって打ち合わせをしたりで、本番を終えた時には、一つの事を協力してやりとげた達成感と、皆様との絆を深く感じる事が出来、忘れられない青春のような思い出として心に残っております。

2月のIMでは、ガバナー補佐の遠藤正幸さん、実行委員長の矢岸さん、副委員長の前田博利さんが、勉強と成長を兼ねて、メンバーを入会5年未満程度の若手でそろえて下さり、まだ私など右も左も分からない状態でしたが、役を頂き、打ち合わせに何度も参加させて頂く中で、メンバーの思いや意見を感じることができ、とても勉強になりました。

最後の挨拶での某先輩の涙には自分ももらい泣きしてしまいました。

メンバーみなさんの一生懸命な姿勢に心打たれ、サポートしていただいた先輩方にも感謝の気持ちでいっぱいです。

この歳になってもこのような経験が出来るロータリーは、学生時代に一致団結する機会が少なかった私にとっても大切な場所となっております。

更にロータリアンの諸先輩方には素晴らしい方が多く、仕事面でも、人としても、日々沢山の事を学ばせて頂いております。

自分も小さいながらも会社の上立つ人間として、皆様を見習い、出来る事から始めようと、地域のゴミ拾いに参加したり、積極的に募金したり、出来るだけ社会貢献を自然と意識するようになりました。

上に立つ人間だから偉いとかではなく、どんな人からも、些細な事でも、学ぶ事を忘れずに、これからも皆様のように、謙虚な気持ちで精進していけたらと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



スマイルボックス

- ◆ 仲田君、この4月から清水町消防団の副団長になりました。これからは町の安心安全のためがんばります。
- ◆ 伊丹君、佐野美術館のしだれ桜が今満開で見物客が多くなりました。又、4月15日、16日、17日で牡丹祭りを開催します。40鉢の牡丹が見て、見てと言っているようです。
- ◆ 小塚君、本日、つまらない話、お聞きください。

ROTARY NEWS

世界中で活躍する「行動人」

スリナム

スリナムでは、中学入試の合格率が50%まで低下していることに当局が悩まされています。現役や退職した教師の会員がいるパラマリボ・レジデンス・ロータリークラブは、この合格率を上げ、中退率を下げることを目指しています。10月には、小学校高学年が通う学校で約20人の教師を対象に算数研修プロジェクトを開始しました。このプログラムでは、集合、方程式、関数、平面図形、三角法などが取りあげられます。クラブ会員のイヴォンヌ・モハビアさんは、「算数や数学は人生のあらゆる段階で必要とされますが、スリナムでは子どもの算数の成績が低いことが統計で示されています」と言います。退職した校長でロータリアンのエワード・レブンスさんがこの研修を主導し、オランダ数学教師協会(Dutch Association of Mathematics Teachers)からも支援を受けています。

今の考え方は「とにかく、固定概念を捨てて新しい価値観・イノベーションを生み出すというところにフォーカスして、希望を持って目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠るという生き方をしています。

以上が、私の人生と仕事についてのお話でした。ありがとうございました。

ナイジェリア

ナイジェリアは乳がん死亡率が世界で最も高い国の一つであり、イコイ・ロータリークラブはこの事実を見逃しませんでした。「ナイジェリアでは乳がんの発生率が恐ろしいほど高まっているため、あらゆるリソースを駆使してこの悲劇に立ち向かうことにした」とクラブ会員のウニフレッド・エビエ・インバシさんは言います。クラブはサラ・アヨカ・オドゥワイエ財団と協力し、2023年7月にラゴス島総合病院で500人以上の女性に無料の乳がん検査を実施。12月にはオバレンデ近郊で400人の女性に無料の乳がん検査を実施しました。1月には、啓発活動の一環としてアライアンス・フランセーズ劇場でジャズナイトと授賞式を開催しました。

(週報担当:町野 暉)